



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674
2009年9月13日 No.675

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



八潮南特養ホーム

2011年度
オープン

ショートステイ、認知症^含め定員118人



高齢者施設は小中一貫「八潮学園」開校で閉鎖された八潮南中学校の跡施設につくられる。

区民が待ち望んだ八潮の特別養護老人ホームが、2011年オープンに向けて工事に着工する段階になりました。区議会厚生委員会に区側から施設の概要説明がありました。個室の設置などこれまでよりプライバシーに配慮した施設となっています。

施設は八潮団地内の八潮南中学校跡施設を改装し特養ホーム81人、ショートステイ19人、認知症高齢者グループホーム18人の合計で定員118人の施設（図は2階の特養ホーム部分）で再来年の開設されます。

八潮特養ホームは、個室5室のほか「個室的なしつらえ」の部屋が40室つくられます。個室的しつらえとは、法的には個室でなく多床室（いわゆる大部屋）ですが、個々のスペースの仕切りをカーテンではなく「壁」にしたもの。壁は天井が開いているものの個室に近い仕様です。利用料は所得に応じて、個室が月3万5千円（介護保険料第1段階）から、個室的しつらえが月2万5千円（同）からとなります。

共産党が
要望

八潮建設後の計画 早急に具体化を！

特養老人ホームへの入所待ちは500人超。八潮南特養ホーム(定員81人)が建設されても足りないのに、品川区は八潮以後の具体的な特養ホーム増設計画つくっていません。日本共産党は早急な建設を求めています。

今年3月、群馬県渋川市の無届の有料老人ホーム「静養ホームたまゆら」で10人の高齢者が亡くなった火災事故。食事もろくに与えられず、夜はドアにつっかい棒…など所得者の少ない高齢者は人間扱いされていないようなひどい実態が明らかになりました。品川区も「必要な方は入れている」からと特養ホームは増設せず、その一方で、特養ホームに入所できて当然な低所得の高齢者を「たまゆら」と同じような無届施設に送っていたのです。

「たまゆら」事故後の4月、品

川区は長期計画に特養ホーム増設の方向を盛り込みました。しかし、長期計画は今後10年間の計画なのに、500人超の待機者解消どころか、八潮南特養ホームを建設した後、当面、何人分の施設をどこにつくるかの計画さえ具体化されていません。

区内では大規模な土地の確保が難しい状況もあり、日本共産党は小規模の特養ホーム建設など具体的な増設計画を早急に求めるよう求めています。



無料
法律相談
9月25日

弁護士が対応

みやざき克俊事務所

生活相談は
随時受付ます。
電話
3786-6674

17日
より

決算議会が始まります

昨年度の決算審議を主な議題とする区議会第3回定例会が今月17日から始まります。日程は10月21日までの1ヶ月余です。

大企業の利益を最優先にして、中小企業や労働者、国民のくらしそっちのけの政治をすすめてきた自民・公明政権が国民から厳しい批判を受け政権から退場しましたが、ゼネコン・大企業の大規模開発に莫大な税金を投入してきた品川区も問われています。日本共産党区議団は、くらしと営業を守る提案を積極的におこない、来年度予算に反映できるようがんばります。

日本共産党の本会議質問は南恵子議員が行います。内容は、①大企業中心の政治でこわされた区内中小企業、今こそ支援する政治に ②保育園や特養ホームの増設、住宅耐震化促進で建設業者の仕事確保を ③製造業を倒産の危機から救うために、工場家賃などの固定費支援を ④商店街の装飾灯電気代補助は全額に ⑤憲法違反の障害者自立支援法は直ちに廃止。安心して暮らせるグループホームの増設を——です。質問は17日(木)午後3時ころから、傍聴をお待ちしています。

